

第3回事業報告会

日時：平成29年12月6日（水）

13時30分～15時00分

出席者：（小国町立病院）佐藤看護部長、（最上町立最上病院）有路総看護師長、
（公立高畠病院）竹田看護部長、（順仁堂遊佐病院）信夫副院長兼看護部長
（尾花沢病院）田中看護部長、大類病棟課長
（町立真室川病院）井上総看護師長、黒坂看護師
（川西湖山病院）金子介看護部長代行、大淵師長代行、若山主任

（大学）前田学長、菅原看護学科教授、遠藤看護学科長、後藤教授、渡邊助教、
佐藤特任講師、鹿間図書・調整主査、富樫事業推進主査、設楽企画主任

意見・感想

- ・ブラッシュアッププログラムで行った授業の内容やフォローアップで教わった授業の組み立て方など、実際そういうふうにしたら効果的な指導につながるかという所を具体的に教えていただきながら講義を組み立てられることができたことが、とても勉強になった。
- 看護研究も、ブラッシュアッププログラムで研究計画段階だったものを、実際に形にしていく段階までご指導していただけて、自分自身では理解に苦しむところを大学の先生に教えていただき、フォローアップで参加している他の病院の看護師と一緒にできることが魅力だった。
- ・大学の先生方が学生にどのように関わって授業を組み立てているかみることができ、現場の実習担当者と先生方の打ち合わせでどのような組み立てがなされているかという部分をみることができ、自分の病院で学生を受け入れるとなった時に、少し準備ができるなと思い参加してよかった。学生の生の声も聞くことができ、良かった。
- ・今年度実習生を受け入れ、実習指導者も少ない状況ではあったが、小規模病院が地域の中でどのような関わりをしているか、訪問看護であったり介護施設であったり、幅広い内容の実習を計画し学生に見ていただき、看護師もまた勉強になった。
- ・参加したスタッフは、ファシリテーターのような役割をするようになり、講習会などでも考えさせることを重要にした内容をするようになってきており、とても成長が感じられる。
- ・このプログラムに参加したスタッフの成長がすばらしく、他のスタッフへも影響している。同じ規模の看護師との交流も図られる機会があり、とても羨ましく思っている。
- ・小規模病院に光をあていただき感謝している。参加したスタッフの向上心やモチベーションに繋がっている。今後の課題としては、後に続く後輩の育成と考えている。
- ・人事交流に参加し、学生の学びを知り、このような高度な学びをしてきた学生が自分の病院に就職した際に、しっかり新人教育等ができるように、自分たちももっと学ばなければならないと感じた。
- ・なかなかスタッフの参加も大変な状況ではあるが、できるだけ調整・捻出し、参加していきたい。病院事務局とも相談し、今後もっとICT活用できるような環境や体制をつくろうと思った。
- ・看護師の負担を増やさずモチベーションをあげていくということは至難の業だが、大学から支援を受けられるというのはとても有益なことだと思うので、これからも人選をしたうえで参加させていただきたい。実習受け入れという体制は難しいところもあるが、看護体験というような形で入れ受け入れできればいいなと思った。